

## 福祉・介護の仕事の社会的意義、やりがいを発信

### ―第1回福祉のしごとフェア開催

8月4日、かながわ福祉人材センターの「第1回福祉のしごとフェア」が開催され、午前・午後の2部制で就職支援ガイダンスと就職相談会を実施しました。

就職支援ガイダンスでは、高齢、障害、児童の分野から、福祉施設の職員が自らの経験などをもとに仕事のやりがいや魅力を紹介。

第1部で特別養護老人ホーム「第二座間苑」生活相談員の椿山美香子さんは、現場には前職が多様な仲間たちがいることを紹介。人材育成のための研修などを充実させており、安心して働ける職場であることを話しました。

重症心身障害児者施設「横浜医療福祉センター港南」生活支援部長の生田目昭彦さんは、多職種による連携を福祉の仕事の特徴の一つとして紹介。さまざまな情報や異なる視点を吸収し、学びながら働ける仕事だと伝えました。

児童養護施設「聖母愛児園」主任児童指導員の伊崎直樹さんは、関わってきた子どもたちとのエピソードの数々を披露。その上で、人が健康で幸福な人生を送るため

に最も必要なものは「良い人間関係を築くこと」とする、ハーバード大学が75年に渡って続けてきた成人発達研究を取り上げ、これを仕事を通して実現できることが福祉の魅力であると語り

ました。  
就職相談会では社会



就職支援ガイダンスの様子

福祉法人、医療法人社団、NPO法人、株式会社など多様な運営主体から122ブースが出展。関係機関・団体の専門相談ブースも設置され、資格取得や施設見学等に関する相談に応じました。

就職支援ガイダンスの参加者も含め、各ブースには学生や中高年齢者、子ども連れの女性など幅広い層の求職者延べ400人以上が訪れました。参加者からは「一度で多くの法人から話を聞くことができ大変参考になった」などの感想も聞かれ、求職者と求人事業者の出会いの機会となりました。

(企画調整・情報提供担当)

## 認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて

### ―認知症サポーター活動支援事業「オレンジパートナー養成研修

本会では、厚生労働省が掲げる「認知症施策推進総合戦略」(新オレンジプラン)のもと、認知症への理解と知識を持ち、認知症の人やその家族をサポートする役割を担うために県内で活動する「認知症サポーター」等を対象に、より一層の資質向上と今後の活動の支援を目的とした「オレンジパートナー養成研修」を、県の委託を受け県内7カ所で開催します(下表参照)。

この研修では、認知症の人や家族に対する支援に実績のある医師や認知症看護認定看護師による講義を通して、認知症に関する知識を深めます。また、活動場面の事例を取り上げたグループワーク演習、意見交換も行いながら、社会資源や関係機関との連携の取り方等についても学びます。

研修を修了した方は「オレンジパートナー」として登録します。今後地域で実施される認知症カフェや徘徊高齢者模擬訓練等、オレンジパートナーの活躍が期待される各種取り組み、事業に関する情報を適宜提供していく予定です。

身近な問題として社会の関心が高まっている認知症への対応。この取り組みにより病気への理解と支援の輪が広がるよう、期待が寄せられます。  
※詳細は本会ホームページで紹介しています。

(地域福祉推進担当)

### オレンジパートナー養成研修開催スケジュール

会場		開催日
横浜	神奈川県社会福祉会館	平成29年9月21日(木)
小田原	神奈川県小田原合同庁舎	平成29年10月5日(木)
海老名	海老名市役所	平成29年10月25日(水)
伊勢原	伊勢原市立中央公民館	平成29年12月4日(月)
横須賀	神奈川県立保健福祉大学	平成29年12月9日(土)
相模原	サン・エールさがみはら	平成30年1月16日(火)
藤沢	藤沢商工会館	平成30年1月25日(木)